

平成26年度 発達支援相談室活動報告

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(1) 発達相談

平成26年4月1日以降の新規受付件数は12件であり、平成26年4月1日以前からの引き継ぎケースと合わせると、本年度の総登録件数は68件であった。

表1 相談件数

受付別	件数
新規受付ケース(平成26年4月以降新規受付)	12
引き継ぎケース(平成26年4月以前に受付)	56
合計	68

年齢別にみると、乳幼児が20人、児童28人、生徒(中学生)9人、生徒(高校生)8人、高校生以上が2人、成人が1人であり、乳幼児期・学齢期を中心に幅広い年齢層の発達に関わる相談を受けていることがわかる。

表2 年齢区分別

年齢区分	人数
乳幼児(就学前)	20
児童(小学生)	28
生徒(中学生)	9
生徒(高校生)	8
高校生以上(未成年)	2
成人	1
合計	68

相談内容別の件数は表3の通りであり、65件と大半は「発達障害」に関するものである。「知的障害」を伴う「発達障害」については、「発達障害」に区分している。

表3 相談内容別

主訴(相談内容)	件数
発達障害	65
知的障害	3
教員コンサルテーション	1
合計	69

面接形態別相談件数は親単独面接が13件、親子並行面接(時間別並行面接を含む)が55件、心理検査が

1件、教員コンサルテーションが1件であった。

表4 面接形態別

面接形態	件数
親単独面接	13
親子並行面接(別時間並行面接を含む)	55
心理検査	1
教員コンサルテーション	1
合計	70

月別の面接およびプレイセラピー件数は表5の通りである。4月は年度当初、8月は3週間の相談室の休室があったため回数が少ないが、年間を通じて多くのクライアントが通っている。2月の件数が最も多く(133回)、総回数は1239回であった。

表5 月別面接回数(本年度)

月毎	回数
平成26年4月	69
平成26年5月	113
平成26年6月	130
平成26年7月	126
平成26年8月	28
平成26年9月	98
平成26年10月	123
平成26年11月	105
平成26年12月	122
平成27年1月	103
平成27年2月	133
平成27年3月	89
総面接回数	1239

(2) グループプレイセラピーの発達相談

発達障害の児童生徒を対象にグループプレイセラピーを実施した。実施月と回数および参加児童生徒数を表6にまとめる。1回当たりの平均参加児童生徒数は6名であり、4～8名の範囲で変動した。今年度の実施期間は平成26年5月～平成27年2月までであり、8月と9月は休みであった。グループプレイセラピーの実施に際し、グループ運営を飯塚一裕専任教員が、保護者支援を吉岡恒生兼任教員がそれぞれ担当した。

また、協力スタッフとして学生相談スタッフ15名がプレイセラピーを担当した。

表6 グループプレイセラピー実施回数

実施月	実施回数	参加児童数
平成26年 4月	0	0
平成26年 5月	1	7
平成26年 6月	2	15
平成26年 7月	2	12
平成26年 8月	0	0
平成26年 9月	0	0
平成26年10月	1	7
平成26年11月	1	4
平成26年12月	2	14
平成27年 1月	1	6
平成27年 2月	2	13
平成27年 3月	0	0